

森ア 第108号- 3
平成19年 2月13日

株式会社 ディープランヨネザワ
代表取締役社長 米澤修二 様

岐阜県立森林文化アカデミー学長



依頼試験成績証明書

平成16年 5月27日付けで引き受けた構造試験に係る下記の木造建築物用接合金物は、当機関の木質構造等強度試験により、下記の通り耐力を有するものと判断する。

1. 件名

片引きDボルトシステム（木-木接合部緊結タイプ）仕口

2. 試験区分

平成12年建設省告示第1460号第2号表三に定められた柱の仕口の「又はこれらと同等以上の接合方法としたもの」に基づく仕口の試験方法および評価方法として示されている財団法人日本住宅・木材技術センター編集「木造軸組構法住宅の許容応力度設計」中の「第2章 木造軸組構法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に準拠

3. 強度性能

(1) 許容耐力と接合部倍率

許容耐力：「23.09 kN」

(2) 接合部倍率 (N 値)：「4.36」

条件

木材	(1)材質 (2)断面寸法	木材：スギと同等以上 木材：120×120mm以上
接合具	ハンマーナット	1個 径：30mm、長さ：120mm、M12ねじ切り 材質：SS400
	専用ボルト	1本 M12 材質：高力鋼ボルト
	化粧座金	1個 径50mm、厚さ5mm 材質：SS400熱処理（浸炭焼入れ硬度30）
	皿キャップ	1個 M12ねじ切り 材質：SS400熱処理（浸炭焼入れ硬度30）
接合方法	(1)取り合い	木-木接合（柱と横架材、横架材と横架材） ハンマーナットは木材の木口から240mmの位置に配置する

備考：建設省告示第1460号表三(ち)と同等以上とみなされる。

4. 有効期限

関係法令・告示などが改正、削除など変更となるまでとする。

別添

試験報告書「片引きDボルトシステム（木-木接合部緊結タイプ）仕口」